

IRODORI

彩

第3号

平成27年10月17日
荒川区青少年委員連絡会
荒川区生涯学習課
登録(27)0054号

青少年委員にしかできないこと

青少年委員だからできること

荒川区青少年委員連絡会ホームページ <http://www.arakawa-seishonen.jp/>

特集！ミニ研修

～青少年委員は一日にしてならず～

荒川区のミニ研修



荒川区青少年委員連絡会
会長 中條 勉

荒川区では青少年委員を地域ごとにブロックに分け、各々が地域で特色のある活動を活発に行っています。そのすべての委員が毎月一堂に会する定例会では、ただ報告だけの会にならないよう、だ報告だけの会にならないよう、調査研修部員が趣向を凝りし、地元に持ち帰っても十分に力を發揮できるようつなぐ研修を毎回行っています。

おっちゃんとおばちゃんが賑やかに集まり、子ども達の心をつかむために行っている、ミニ研修をわかり紹介します。

委員同士の信頼関係とスキルアップのために



荒川区青少年委員連絡会
調査研修部長 岡野 邦雄

昨年4月の定例会から行ってきたミニ研修も1年半がたちました。初めは、子ども達と早く打ち解けるためのアイスブレイクを中心に行っていました。昨年の10月以降は班毎に分かれ、会議の進め方(ファシリテーション)や行事を行う時のシミュレーションの仕方等多岐にわたって実施しています。

今では委員同士の信頼関係も深まり、活発な意見交換ができるようになりました。



ミニ研修で学んで活かす！！

川の手荒川まつり

荒川区で行われる年に一度の大イベント「川の手荒川まつり」では“作って遊ぼうコーナー”を担当。

身近にある物で作るおもちゃの作り方と、遊び方のアイデアを出し合い、本当におもしろいか、安全に遊べるかを実際に自分たちでも試してみた。



飛び出せ紙カップ！
どうやって遊ぶの？



紙カップに張った輪ゴム
の力でフラコップを飛ば
してみたよ！

ある日の調査研修部会…

本日のお題はアイスブレイク！



アイスブレイクって？

子どもたちの緊張をほぐし
仲良くなるための大切な第一歩だよ。



宿泊研修スタンツ

キャンプファイヤーなどで行うスタンツは、創造の楽しさや仲間の持ち味を発見でき、表現力や積極性が身に付く。

グループ全員が何らかの役になり、演じることによって班のまとまりが生まれてくる。

スタンツってなあに？

短い時間の中で即興で作る
寸劇のことだよ！



日帰り研修会

阪神淡路大震災をきっかけに全国に広まった「サバ飯」は、
ライフラインが止まても対応できる。

アルミ缶を2個重ねて、下をかまどに上は鍋にする。かまどには空気を通す穴を開ける。燃料には牛乳パックや割り箸などを使い、ご飯を炊く。



サバ飯ってなあに？



サバイバルご飯のことでのアルミ缶
で炊くんだよ！
煙がもくもく、みんな真剣だね！

ミニ研修に参加して

毎回楽しく参加させていただいている。勉強になったなあと思った研修や、おもしろい内容だった研修は、家でやってみたり、職場のネタに使います。“研修”という名前ですが、いつも時間が経つのが早く感じ、堅苦しくなくて本当、楽しいです。

岡村のくせに

ベテラン委員の研修指南は勉強になります。大人老人向けのゲームや研修も今後考えても良いかもしれません。

もっちー丸

小学校のタテ割り班みたいで楽しかった。各自のスキルは上がったと思う。

カクちゃん

今期がはじまって1年半よくぞ続いたミニ研修！！荒川名物に育つといいな♥

いまぴいです！

いろいろ勉強になっています。

ほさか

いろいろと身に付く研修が多く、そして楽しい研修でした。5期10年間の集大成ができました。

岡ちゃん

短い時間でも実りが多く充実している。即戦力になる事が多く、実用性が高い。

上原憲太郎

物づくりは人の性格が出ておもしろかったです。

いしちゃん

実戦で通用するもの。

チャラ

「アイスブレイク」という言葉の意味も知らなかったので、毎月のミニ研修で少しずついろんなことを勉強できて、よかったです。

毎回毎回よく考えててくれていると思います。これは真似できないな。簡単には。

川野

他ブロックの方と楽しく会議ができるでストレス発散しました。

ヨコタ

行動心理についてのミニ研修では、AさんBさんその他の〇〇さんの『事件』についての考え方方が人それぞれ違っておもしろかったよね！男性と女性とでは全く違っていてびっくりだったね！！調査研修部のみなさん、毎度お疲れさまでーす！

たかもっちゃんでーす☆

他ブロックの人との関わりがありますし、活動の上でとてもためになると思うので、今後も行ってほしいです。

ホニョ

～編集後記～

広報部会では、全体の構成を考えたり、コメントの編集をしたりと、時には夜遅くまでみんなで作業をしました。“青少年委員ってさすがだな”と思ったのは、あんな風にしたらどうだろう、こんな風にしてはどうだろうと意見や知恵を出し合っていくと、最後には必ず素晴らしいものが生み出せるということでした。本冊子「彩」の出来栄え、みなさん、いかがでしょうか。

広報部会副部長 小玉

